

二〇二二年

三重若菜会会報

1. 昇級・昇段者（移行による昇段を除く）

昇級・昇段	氏名＊学年は昇級時	時期・大会
A級・四段	久 知嗣	1 月高松宮
B級・三段	小方 達矢	3 月高松宮
	大橋 里菜 (大2)	8 月桑名
	奥野田 花霞 (大2)	8 月桑名
	山内 楓菜 (大2)	11 月フェスティバル
C級・二段	山田 侑佳 (中2)	3 月応援特別
	廣森 瑞葉 (大2)	3 月応援特別
	田中 悠也 (高2)	7 月高校選手権
	西井 月 (高2)	11 月フェスティバル
	川瀬 双葉 (大3)	11 月フェスティバル
D級・初段	川島 幸乃	3 月応援特別
	奥野 陽春 (中2)	3 月応援特別
	増田 光桜 (高1)	3 月応援特別
	松野 栞奈 (高2)	3 月応援特別
	中川 華恵 (中1)	5 月大垣
	春田 彩瑛 (高3)	5 月大垣
	越田 菜南 (高1)	11 月フェスティバル
	大澤 陽菜 (高2)	11 月フェスティバル
	井上 実咲 (高1)	11 月フェスティバル
	中辻 初菜 (中1)	11 月フェスティバル
	山本 果歩 (中1)	12 月初段認定
	研谷 新 (小5)	12 月初段認定
	田中 明日華 (中1)	12 月初段認定
	金澤 奈津見 (高1)	12 月初段認定
	植松 千晶 (高2)	12 月初段認定
	水谷 麻椰 (中3)	12 月初段認定
	矢島 希実 (大1)	12 月初段認定

久知嗣さんが
二〇二二年一月に開催
されました高松宮杯
にて準優勝し、二年連続
で新たなA級選手が
誕生しました。
おめでとうございます。

2. 個人戦大会入賞者

A級	【準優勝】	太田 知絵	(8月桑名)
	【四位】	太田 知絵	(12月愛知)
B級	【準優勝】	久 知嗣	(1月高松宮)
	【準優勝】	正木 真由子	(5月大垣)
	【準優勝】	村井 彩夏	(5月大垣)
	【三位】	植村 涼寧	(5月大垣)
	【三位】	井村 凜	(12月愛知)
	【四位】	村井 彩夏	(8月桑名)
	【四位】	近藤 真衣	(8月桑名)
	【四位】	諸岡 和奏	(8月桑名)
C級	【準優勝】	大橋 里菜	(8月桑名)
	【三位】	奥野田 花霞	(8月桑名)
	【四位】	谷川原 景子	(8月桑名)
	【四位】	山田 侑佳	(8月桑名)
D級	【三位】	田中 悠也	(7月高校選手権)
	【四位】	坂野 さくら	(4月桑名)
E級	【優勝】	中川 華恵	(5月大垣)
	【三位】	春田 彩瑛	(5月大垣)
中学3年生の部 C～E級の部	【四位】	山田 侑佳	(8月中学生選手権)

(以下、昇級者の内、十二名から寄稿いただきました所感です。)

A級昇級

皇學館大学競技かるた部 久 知嗣

二〇二一年十二月に行われた第九回大垣大会、二〇二二年一月に行われた第七十一回高松宮記念杯、いずれもB級準優勝という結果でA級昇級いたしました。大垣大会は真剣に優勝を目指していた中での準優勝、反対に高松宮杯は論文作成に追われ、練習不足の中で拵んだ準優勝でした。

大垣大会の一回戦、また高松宮杯の準決勝はどちらも運命戦で勝ちました。本稿ではこれらの運命戦を紹介させていただきますと思います。僕はB級昇級時の大会でも二回戦で運命戦に勝っており、大会で勝ち抜くには運も重要な要素であることを実感しています。

大垣大会一回戦、終盤で相手の攻めが鋭くなり、自陣「もろ」「この」「わがそ」「わび」「ありま」、敵陣「いに」の5・1に追い込まれました。「いに」はどこかでは出る

と思い、敵陣も意識していた中で出た「いに」を抜いて「この」を送り、自陣の「わがそ」を守って、3・1。数枚空札があり、自陣を意識しつつも、その後に出た「この」をギリギリで抜きました。送り札は迷いつつ「もろ」を送りました。勘で出ない札を選んだので2・1からは自陣を守ることのみを考え、2枚を右下段に並べ、次の「わび」を守りました。運命戦になり、自陣を絶対に抜かせないという気迫に圧されたのか、相手が関係ない札で自陣を触るというお手つきをして、勝つことができませんでした。結果的には「もろ」が出ていたので、運に恵まれた試合でした。

高松宮杯準決勝では、終盤2・4から敵陣の「しら」を空振ってしまい取られるという自分のミスもあり、自陣に「ひとも」「きみがためを」、敵陣に「ちぎりき」の2・1でどれも一字という状況になりました。どれも出そうな札だったので、自陣二枚が出たらA級になってもいいということだと思い、運命に任せて自陣二枚を右に固めました。聞こえたら払う気持ちで、まず「ひとも」がでて残り1・1で運命戦。ここまで来たら絶対に自陣を守って勝ちたいと思い、自陣が出ると念を送っている、自陣の「きみがためを」が出てくれました。

結果的に準優勝二回で昇段となり、少し悔しい気持ちもあります。ただ高松宮杯準決勝で運命戦に勝てたことは、かるたの神様にA級になることを認めてもらったのだと思います。

A級昇級できたことで、お世話になっている三重若菜会に少しは恩返しができたのではないかと思っています。今後はA級に相応しいかるたを取れるように精進して参りますので、これからもよろしくお願いいたします。

三段を取得して

皇學館大学競技かるた部 奥野田 花霞

去年の八月に行われた桑名大会でB級に昇級しました。

小学六年生から始めたかるたは中学一年生になったばかりの頃に倦怠期が訪れ、一度辞めました。大学に入り、かるたを再開しましたが約六年のブランクで中々勘というものは戻らず、数ヶ月ほど燻りましたが夏休みの頃には比較的戻っていたかと思います。

かるたをしていた頃、優勝した事が一度もなくC級に

あがった際も三位で昇級しました。恐らく過去一の順位はかるた再開後に出場した三重県大会での準優勝です。優勝してB級にあがりたいという中学生時の目標は、残念ながら惜しくもなく叶いませんでした。大学在学中にA級に上がったらいいな、のスタンスで残り一年半程頑張っていきたいと思います。

ここ半年〜一年の間で苦手だった三字決まりを克服して、今では二字決まりよりも好きな札になっています。三字以上の札も昔は捨て札のような認識で取っていましたが、今は取りにいける札になった代わりに、二字決まりが取りづらくなってしまうました。一字で飛び出して二字で札上まで行き、三字で判断して取るという形が二字決まりになると遅いからなんだろうな。とは思っているものの、その中間が難しくまだ克服できていないので、それが今後の練習課題です。

試合で心がけていることと、今後の課題

皇學館大学競技かるた部 山内 楓菜

私は普段の練習にて、一試合ごとに目標を立てるよう

にしています。三字にあわせにいくことや戻り手の動き方、体重の移動の仕方など、自身に足りていない数多くの中で「これだけは」と決めて試合に臨むようにしています。たとえ負けてでもその試合の目標は達成しようという心持ちです。試合の中であれもこれもと手を出しそうになりますが、そのような中でも立てた目標を最優先に考えています。そうして、少しずつ成長していった結果がB級昇段に繋がったと思っています。

私の現在の課題は、攻める気持ちを維持しながら自陣の守りを固めることです。攻めようと気持ちが前のめりになると、どうしても自陣が疎かになってしまいます。それでは同じ攻めがるたの方と対戦したとき、読み札に左右される試合になります。実際、三月の桑名大会、五月の大垣大会と、自陣の守りの甘さから初戦敗退となりました。B級で勝ち上がっていくためには、意識しなくとも自陣を速く取れるようになる必要があります。これからは、守るためではなく、攻めるために自陣を強化していきます。

今年度でかるたをはじめて三年目、大学も同じく三年目になりました。残りの学生生活の中で、精一杯にかるたを楽しんで強くなろうと思います。

三段を取得して

暁学園かるた部 山田 侑佳

今回昇級を決めた要因は、一試合目にあると思います。ずっと相手の方に五枚差ほどでリードされていましたが、終盤相手のお手つきで流れが変わり、勝利を手にすることができました。そこで肩の力が抜けて、一試合、三試合、と駒を進めることができました。また、今回の大会は他の大会と比べてあまり気負わずに札を取ることでできました。

自分の強みは、上記のような粘り強さだと思っています。かるたは、最後まで何が起こるかわからない競技だと思っています。初めは大差で負けていても、相手のお手つきやダブで流れが変わったり、逆に大差で勝ってても、自分のミスや集中力が切れてしまったりして接戦になったり、負けてしまうこともあると思います。なので最後まで諦めないことが自分の強みだと思っています。また、暗記力も自分の強みだと思っています。体力では他の方に比べて劣っていると思いますが、それをカバーできる暗記

力を持っていると思います。

普段の練習ではこのように諦めない心を持って最後まで自分のかるたをするように心がけています。

もともとと強くなれるように、これからは他の選手の技術や姿勢を参考にしてみたり、自分だけの技や払いなどを磨いていきたいです。そして、かるたを楽しく、ずっと続けていきたいです。

かるたについて

皇學館大学競技かるた部 廣森 瑞葉

私の今のかるたは一進一退です。いえ、少し見栄をはりました。一進一退どころか、一歩進んで三歩下がるような状態です。

「何度もお手つきをしてしまう」「一音目から手が出してしまう」私の試合はこのような行動ばかりです。落ちてこうと思えば思うほど、焦りが出てきます。

このような行動の主な原因は「気持ち」であると考えています。焦りや気負いが強く出てしまうのです。

落ち着けない自分が情けなく、酷い試合をしてしまっ

た日には、家に帰ってから泣き散らしていました。お手つきを減らすことばかり注目していましたが、家族に心配をかけないためにも、あまり泣かないようにしたいです。頑張ります。

また、競技かるたをしている人なら誰しも一度は、悩んだり躓いたりすることがあると思っています。そして、それを乗り越えたからこそ強いのだと信じています。私の周りの人達は、そんな凄い人達ばかりです。そんな人達に追いつくためにも、悩んでばかりの行動しないままではいけないと強く思いました。自分がうじうじしている姿は心底腹立たしいので、そんな自分ごと乗り越えられるように策を練っていききたいと思います。特に「どのようなかるたをするのか」ということをもっと意識して、これからも精進していききたいです。はやく就活を終わらせて、競技かるたと向き合いたいです。

五年間の苦闘、二段の取得に際して、

暁学園かるた部 田中 悠也

二〇二二年七月に行われた高校選手権で三位入賞を

果たし、C級に昇級することができました。

昇級を決めた要因は大会を気負わずに戦えたことだと思います。私は大会で良くも悪くもあまり緊張しないのですが、一番となると無意識の内に緊張してしまつたのでしょうか、この大会の前の大垣大会では昇段戦まで勝ち進んだものの、静岡の方に完敗してしまいました。その経験があつたからこそ高校選手権の昇段戦では強豪という印象を持つている福岡の方を相手に胸を借りるつもりで臨むことができ、途中の苦しい局面もめげずに乗り越えて運命戦まで持ち込み、勝利を手にすることができました。また、澤田先生が何度大会で負けて帰つてしようと「C級に上がれる！上がってくれ！」と発破を掛け続けて下さったことも、自分の中では大きな勝因の一つです。先生、ありがとうございました。

そして自分のかるたの強みですが、正直これはまだ分かつていません。私は特に耳が良い訳でも取りに美しさや正確性がある訳でもないため、大会で輝かしい結果を残す仲間たちの背中を見つめるしかありませんでした。集中力が続かず暗記がおざなりになっていたり、払いが上手くできずに空振りしたりと課題のみが次々と浮き彫りになっていく自分に苦悩する時期もありました。そ

して、結局長所が見つからないままここまでできてしまいました。それゆえ、普段の練習では様々な事を試して自分の可能性を探るようにしています。

これからかるたを続けるにあたって、当面はB級昇級、そしてゆくゆくはA級の方々と互角に戦えることを目指していきます。

最後になりましたが、ご指導頂きました方々、試合をして下さった皆様、そしてこれまで支えて下さった先生や部活の仲間たち、家族にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。まだまだ未熟なこの身ではありますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

C級に昇級して

皇學館大学競技かるた部 川瀬 双葉

今まで私は自分のかるたの強みが分からず、どちらかというと沢山ある弱みの方を無くすことに力を入れてきました。しかしアドバイスをくれる先輩や同級生、後輩に私のかるたの強みは二字、三字を丁度で取れることだと言ってもらいました。それから送り札や暗記の際の

イメージなど様々なアドバイスを頂き、昇級に至ったのだと考えています。

また、練習では一字目が全く取れずにそのまま大会に挑むことになってしまったのですが、緊張感が上手く作用して敵陣の右下段の一字をしつかり抜くことができました。その一手から自信が着きその後も一次～三字まで相手陣を満遍なく攻めることができた点も勝因であったと思います。

今後の私の課題は、戻り手です。一字目の反応が遅く、出札を丁度で取る事に精一杯という、未だに単純なかるたをしてしまっていることが多いので戻り手の強化をしなければいけないと思っています。有難いことに私の周りには、丁寧に教えてくれる仲間がいます。残り少ない部活動の期間で先輩から後輩まで多くの方のアドバイスを取り入れ少しでも早く強くなりたいと思っています。

C級に昇級してからはまた自分の出来ない部分が沢山見つかり改善に追われていますが、その中でも自分のかるたを大切にし、さらに上の級を目指して頑張りたいと思います。練習会などでお会いした際にはご指導よろしくお願いいたします。

初段を取得して

桑名若菜会 川島 幸乃

今回私が昇段できたのは、いつもよりリラックスして、自信をもって試合に挑めたからだと思います。一試合目は、運命戦になって、少し不安になりましたが、大会で初めて一勝できたことが嬉しかったです。そのときまでは、自分のかるたに自信もなかったし、全然取れなかったり、お手つきしたりもあって、負けてばかりでした。それでも、大会で優勝できたことが嬉しかったし、これからもまた頑張ろうとも思えました。

自分のかるたの強みは、まだよくわからなくて、周りの人に教えてもらったり、自分で探して沢山見つけて行けたらいいなとおもっています。

普段の練習で心掛けていることは、練習の時に払い手や構え方について注意されて、こうした方がいいよとアドバイスをしてくれるので、少しでも良くなるようになおして行こうというも思っています。暗記も忘れ札が今でもよくあるので、忘れ札が無くなるくらい覚えられる

ようになりたいと思っています。

私がかかるた会に入った頃は、コロナ禍で、大会が少なかったり、練習会がなかった時もあったけど、今は出られる大会も増えてきているので、少しでも強くなれるように練習も頑張っていきたいなと思います。

初段を取得して

暁学園かるた部 中辻 初菜

私が初段に昇段できた理由は、「勝ってみたい」という気持ちでかるたをしていたことと、「戦わせてくれてありがとう」「経験させてくれてありがとう」という気持ちを持っていたことなのではないかなと思いました。「勝ってみたい」という気持ちとは絶対に勝つという強い気持ちではありません。私は勝ちということを意識してしまふと、お手つきが増えたり体が鈍くなったりしてしまいます。なので、試合中は勝つということを強く意識せずにかかるたをしていたなと思います。「戦わせてくれてありがとう」「経験させてくれてありがとう」という気持ちは、どんな相手と戦っても自分は学べることもあるの

だから、それに気づかせてくれてありがとうという気持ちのことです。弱い人と戦っても、強い人と戦っても反省点、良かった点はあるはずです。そのことに気づかせてくれたのなら感謝しなければいけないなと思います、このような気持ちを持っています。

これからは今まで以上に感謝の気持ちを持って、強くなれるように日々練習を積み重ねていきたいです。

初段に昇段して

暁学園かるた部 植松 千晶

この度の初段取得においての勝因は、練習のように冷静さを保てたことにあったと考えています。普段の練習では落ち着いて競技できるのに対し、大会となると緊張し焦ってしまい、練習どおりに競技できていないことに気付きました。そのため、程よい緊張感で試合をできるようにリラックスする方法を考えました。その結果、今回の大会では落ち着いて試合をすることができました。また、大会までの期間、部活の仲間などたくさんの方々からのアドバイスのおかげで成長し、昇段できたと考え

ています。一緒に練習をしてくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

私はまだ自分のかるたの強みが「これ」と自信をもっているものはないのでこれから一つでも強みを作れるように練習していきたいと思います。普段の練習では決まり字の変化や終盤の暗記が自分の中でまだ成長すべき点だと思うので、決まり字に意識して暗記することを心掛けています。今後は、苦手な敵陣下段への攻め、札を速くするための暗記の強化に向けて練習していきたいと考えています。

初段を取得して

暁学園かるた部 水谷 麻椰

私は昨年の十二月に行われた初段認定大会で初段を取得しました。この大会での一試合目では数枚差で勝つことができました。二試合目は運命戦でした。暗記があまり入っておらず、後半から焦りだしました。その結果負けてしまい、三試合目で勝たなければというプレッシャーを強く感じました。そして三試合目では余裕をもつ

て勝つことで昇段しました。これから頑張っていかなければなと思いました。

まだその頃はE級でしたが全国中学生選手権大会に三重県代表として出場させていただきました。私はそのとき初めて全国というものを見ました。全国はとても強くて、私は一勝すらできませんでした。しかし良い経験になりました。もつとかるたを頑張ろうと思うことができました。

最近私はかるたから離れていたけれど、心機一転してかるたを頑張っていきたいなと思います。そして色々な大会に出場して経験を積んでいきたいです。

初段を取得して

皇學館大学競技かるた部 矢島 希実

この度D級に昇級することができました。私が昇級できた要因は、諦めなかったことだと思います。一試合目に負けてしまつて、後がない状況に陥つてしまいました。私はネガティブで少しの失敗も引きずってしまうのですが、この時は大丈夫だと自分に言い聞かせ、諦めずに

最後まで戦いました。その結果、二試合目と三試合目を無事勝利することができました。昇級したことで今まで以上に強い相手が増えても、この諦めない気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。

私の強みは、反射神経だと思っています。スピードを活かして、攻めの姿勢で取り組んでいきたいです。しかし私は、まだ暗記に自信がありません。いくら速さに自信があっても、位置を覚えていなければ意味がない。そのため暗記練習に力を入れています。攻めに徹しすぎて、自陣が疎かになってしまうことも課題です。自陣を完璧に頭に入れ、五十枚全てを時間内に覚えられるようになります。持ち前の速さで相手よりも先に札に触れることを目標に頑張ります。

3. 団体戦の記録

成 績	参加選手	時期・場所	大会名
桑名高が三重県代表 として出場 Hブロック1回戦 2勝3敗 敗退 (対：城東高)	笹間 あい 内山 琴葉 羽根 夏鈴 内山 采音 村木 悠悟 谷川原 采音 高木 琴音 中竹 心咲	7月、 近江 神宮	高校 選手権
予選リーグ Gブロック1勝2敗 (予選敗退) 対山形 3勝2敗 対宮城 0勝5敗 対山口 1勝4敗	植村 涼寧 笹間 あい 伊藤 凜佳 羽根 夏鈴 内山 采音 森 愛菜 近藤 真衣 森 春香	8月、 東京	高校総合 文化祭
予選リーグ Eブロック0勝3敗 (予選敗退) 対栃木 1勝4敗 対北海道 2勝3敗 対福岡 0勝5敗	山田 侑佳 中川 華恵 小島 はるな 水谷 麻椰 多湖 燿音	8月、 東京	中学生 選手権
対愛知 2勝1敗 対埼玉 2勝1敗 対東京 0勝3敗 準優勝	太田 富夫 松岡 貴子 中村 久美子	9月、 神奈川	ねんりん ピック
予選リーグ Lブロック2勝1敗 対岐阜 3勝0敗 対広島 1勝2敗 対秋田 3勝0敗 決勝トーナメント 対千葉 1勝2敗	太田 智絵 久 知嗣 桐嶺 真琴 村井 彩夏 正木 真由子	11月、 沖縄	国民 文化祭

発行日 二〇二三年十月三十一日

発行行 三重若菜会

発行責任者 村上 智 洋